

2018年11月21日

報道関係各位

※本資料の配布先：経済団体記者会、都庁記者クラブ、
国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

三菱地所株式会社
東京商工会議所
株式会社東京會館

三菱地所・東京商工会議所・東京會館による共同プロジェクト
「丸の内二重橋ビル」 竣工
～有楽町エリアの再開発につながる都市機能強化と賑わい創出を実現～

三菱地所株式会社、東京商工会議所及び株式会社東京會館が、千代田区丸の内三丁目において開発を進めてまいりました「丸の内二重橋ビル」が本年10月15日に竣工し、本日11月21日に竣工式を執り行いましたのでお知らせいたします。

本建物では、皇居外苑を正面に望むオフィスに加え、MICE^{※1}誘致機能強化に資する大ホールやバンケットの一体的な整備、丸の内・有楽町エリアの賑わいを更に活性化させる丸の内仲通り路面店舗の充実、エリアの防災機能・環境性能を大幅に向上させる丸の内仲通り下の洞道整備等を通じて、東京の国際競争力の向上に貢献するとともに、丸の内エリアの魅力を高め、有楽町エリアへも賑わいを波及させてまいります。

＜本物件の特徴＞

オフィス機能	- 皇居外苑を正面に望む1フロア約900坪の開放感溢れる無柱空間のオフィス - グレード感と利便性を追求した、サービス機能付小規模オフィス「The Premier Floor MARUNOUCHI NIJUBASHI BUILDING」を設置
MICE機能	- 大ホールや大バンケットを一体的に整備することで、建物内での連携が期待されるMICE機能 - DMO 東京丸の内^{※2}や日本外国特派員協会による、丸の内エリアからの国内外への情報発信
商業機能	- 丸の内仲通りに面したテラス席を備える路面飲食店舗など、日本初出店や新業態を含む25店舗が集積 - エリアに商業施設としての深まりと広がりをもたらす東京會館の伝統の味を継承した飲食店舗
インフラ機能	- ビルの単体開発に留まらない、エリアの防災性能・環境性能を向上させる丸の内仲通り下の洞道整備 - 東京駅と有楽町エリアを繋ぐ雨に濡れないバリアフリー動線となる地下歩行者ネットワークの構築



▲「丸の内二重橋ビル」外観

【本計画に関するお問い合わせ先】

計画全般：三菱地所株式会社 広報部：03-3287-5200
東商エリア：東京商工会議所 オフィス環境部：03-3283-7857
會館エリア：株式会社東京會館 本館開設準備室：03-3215-2111

■ 1. 立地特性やビル名称の由来、歴史について

- ・「丸の内二重橋ビル」は、水と緑の景観が広がる皇居外苑と商業・文化色の濃い銀座・日比谷・有楽町に近接し、ビジネスの中心地にしながら気品と賑わいを感じられるエリアに位置します。

「富士ビル」「東京商工会議所ビル」「東京會館ビル」の3棟の一体建替えにより、2018年10月15日に「丸の内二重橋ビル」として竣工しました。119年にわたり丸の内でも活動する東京商工会議所や大正時代より続く国際社交場として愛される東京會館を低層部に構え、歴史を紡いできた高い「格式」と、商業・文化の香り漂う「華やかさ」を持つ両面性が本建物の特徴です。



▲第13号館（富士ビルの前身）

- ・本建物名称にも含まれる「二重橋」は皇居内に架かる橋を指し、皇居正門前に立地する本建物の立地優位性を表し、「二重橋」という名称から想起される威厳や格式かつ駅名としても長く親しまれてきた経緯が本建物のコンセプトと合致すると考え、「丸の内二重橋ビル」と命名いたしました。

【東京商工会議所の歴史】

- ・東京商工会議所は、約8万社の東京23区内の会員（商工業者等）で構成される地域総合経済団体です。

「会員企業の繁栄」「首都・東京の発展」「わが国経済社会の発展」の3つをミッションに掲げています。



▲東京商工会議所／二代目ビル



▲東京商工会議所／三代目ビル

- ・1878年に、日本の資本主義の父・渋沢 栄一初代会頭のもと前身となる東京商法会議所が設立されて以降、1899年～赤煉瓦の二代目ビル、1961年～三代目ビルに居を構える中で、商工業の健全な発展と社会福祉の増進を目的に、幅広い活動を展開してきました。

【東京會館の歴史】

- ・東京會館は、“世界に誇る施設ながらも、誰でも利用できる、人々が集う社交場”として1922年に初代本館が開場。ルネッサンス様式な外観が特徴的で「社交の殿堂」と称されていました。



▲東京會館／初代本館

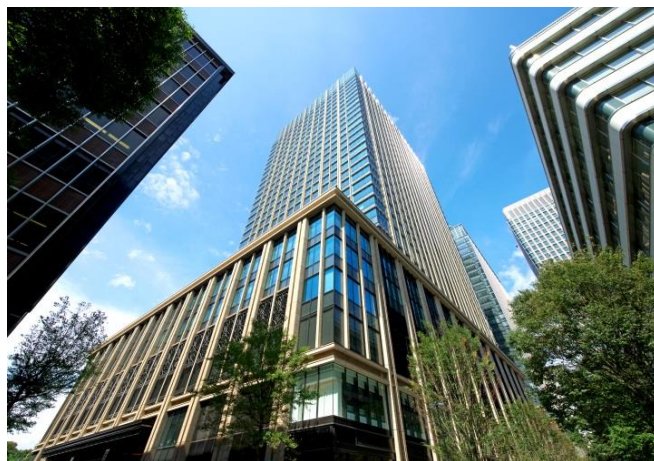
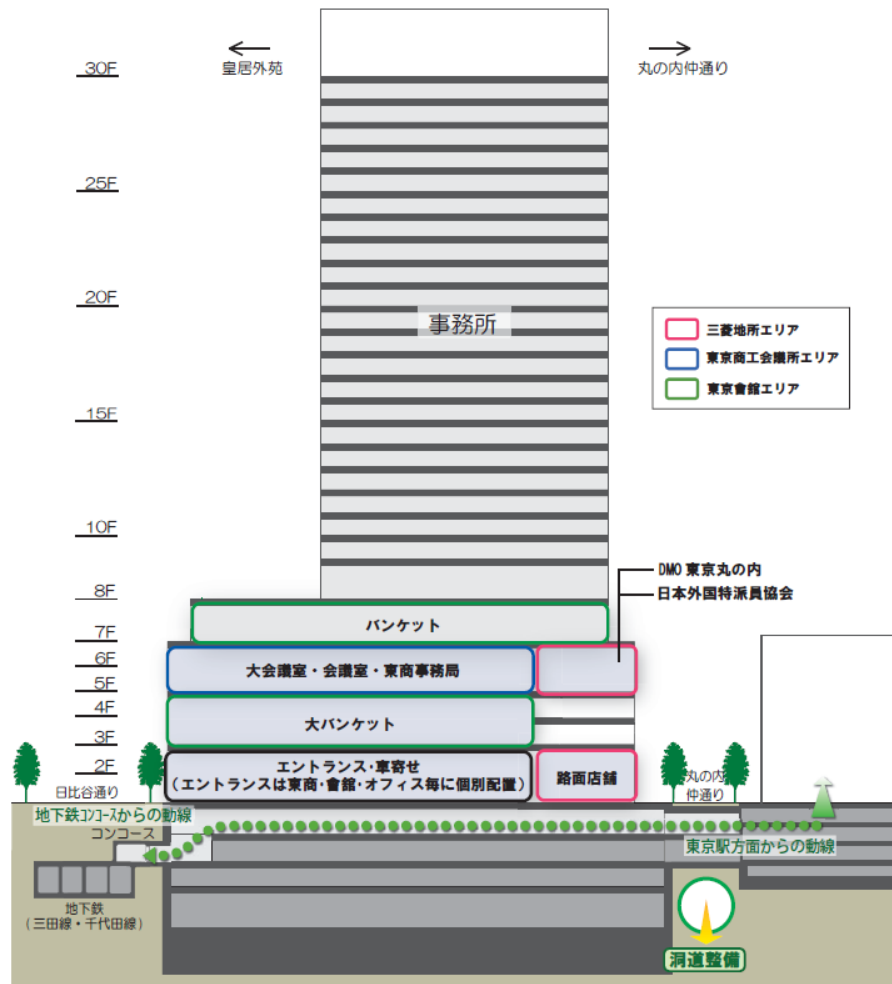


▲東京會館／二代目本館

- ・1971年に建設された二代目本館は、煉瓦色のオリジナルタイルを製作し壁面や内装に使用するなど、“クラシックのなかのモダン”な建築様式を採用。三代目となる新本館にも、伝統の継承を大切にしたいという思いが、正面玄関をはじめ随所に込められています。

■ 2. 建物概要及び権利関係

- ・低層部は三菱地所、東京商工会議所及び東京會館による区分所有となり、三菱地所による丸の内仲通り路面店舗を中心とした店舗、東京商工会議所による貸会議室、賃貸オフィス及び事務局、東京會館による高級レストラン、チャペル、バンケットが配置されています。
- ・高層部は皇居外苑を正面に望む賃貸オフィスとなり、三菱地所と東京會館の共同所有です。



▲「丸の内二重橋ビル」外観

■ 3. 本物件の特徴

【オフィス機能】

○ 皇居外苑への眺望を擁する、利便性に優れたオフィス

- ・皇居外苑と丸の内仲通りの両方に面する街区に立地し、皇居外苑のみならず日比谷公園も望むことができることに加え、東京駅・丸の内と銀座・日比谷・有楽町との結節点に位置することでビジネス・商業・文化の息づく場所として多様な業種にフィットします。



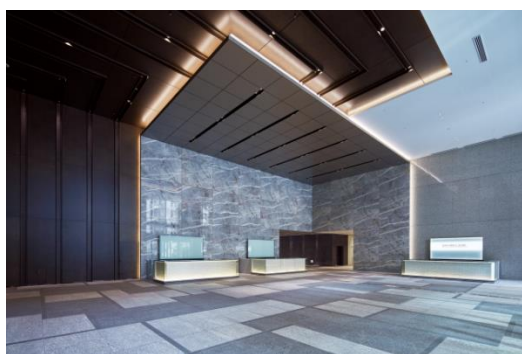
▲22階／オフィス基準階 内観



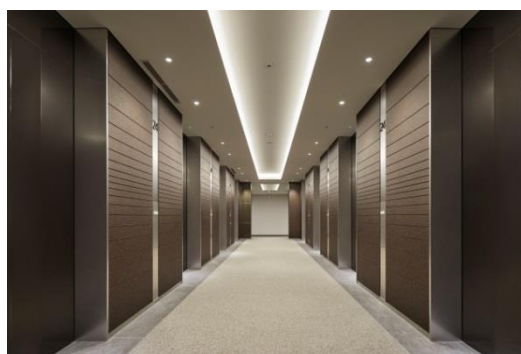
▲22階／オフィス基準階 内観



▲B3階／車寄せ



▲1階／エントランスホール



▲1階／エレベーターホール

○ サービス機能付小規模オフィス

「The Premier Floor MARUNOUCHI NIJUBASHI BUILDING」

- ・三菱地所は 2014 年より、フロアを小規模区画に分割し、レセプション、会議室、ラウンジ等を備えた上質なオフィス空間である「The Premier Floor」を展開してきました。
- ・今回、二重橋ビル 21 階に、丸ビル、大手町パークビルに次ぐシリーズ第 3 弾となる「The Premier Floor MARUNOUCHI NIJUBASHI BUILDING」を設置しました。
- ・皇居ビューの開放感を最大限に享受できるロケーションに位置し、皇居を望むラウンジや会議室を設置、コンシェルジュ等の多様なサービスを提供し、付加価値の高い特別な空間をご用意しています。



▲21 階／エレベーターホール



▲21 階／エントランス



▲21 階／レセプション

<概要>

面 積：約 1,370 m²（約 415 坪）

オフィス区画：10 区画

<主なサービス>



【コンシェルジュ・バトラー】

受付にコンシェルジュが常駐し、お客様の対応を行います。また、クリーニングの取次ぎや接待用贈答品の購入、などに対応するバトラーも常駐します。



【個別 Wi-Fi】

テナントのみが利用可能な、各テナント専用のセキュリティ性の高い Wi-Fi 環境を用意します。



【コーヒーサービス】

ラウンジ内に無料でご利用いただけるコーヒーサーバーをご用意しています。

【MICE 機能】

○ 東京商工会議所（地上 1 階、5・6 階）

- ・日比谷通り、馬場先通りに面した 1 階エントランスには総合案内と各種展示会が可能な多目的スペースを設置。1 階エレベーターホールには旧東商ビルの大理石を使用しています。
- ・5 階の貸会議室エリアには、移動観覧席と電動式昇降ステージ、300 インチのスクリーンを備えた東商グランドホール（最大 500 席、580 m²）のほか、8 室の会議室（80～280 m²）が備えられており、国際会議をはじめ株主総会や会社説明会、記者会見など、多様な会議・イベントへの対応が可能です。会議室には全室にプロジェクターやスクリーンを設置しており、メイン会場の映像を別会議室へ同時配信することもできます。
- ・会員交流の空間や、東商の歴史を紹介する壁面ディスプレイも設けられています。
- ・新オフィスでの業務開始は 11 月 26 日（月）より、ホール・会議室は 2019 年 1 月 8 日（火）より営業を開始します。



▲5 階／東京商工会議所「東商グランドホール」



▲1 階／東京商工会議所エントランス

○ 東京會館（地下 1 階、地上 1～4・7 階）

- ・国際社交場として 1922 年（大正 11 年）に開場、建て替えのため 2015 年 1 月末より一時休館していた東京會館本館が、「NEW CLASSICS.」をコンセプトにした複合施設として新たに生まれ変わります。レストラン 8 店舗をはじめ、バンケットルーム 13 室、チャペルや神殿を備えます。
- ・正面玄関には風格漂う車寄せを新設、大型バスも受け入れます。
- ・地区最大級となる最大 2,000 名規模の宴席に対応する大バンケット「ローズルーム」を新設、国際規模の MICE に対応する最新の音響機器や高性能プロジェクター、7m の天井高を活かした 500 インチの大型スクリーンを完備しています。
- ・ウェディングは、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズと提携し、伝統を重んじながらも新たなスタイルを提案します。
- ・開場は 2019 年 1 月 8 日（火）です。



▲1 階／東京會館車寄せ



▲3 階／東京會館メインバンケット「ローズルーム」

○ DMO 東京丸の内（地上 6 階）

- ・都心型 MICE の誘致促進を目的に、MICE 施設やユニークベニュー（歴史的建造物や文化的施設を本来の用途でない会議やレセプションに使用して特別な雰囲気演出する）施設を所有・運営する 20 団体で結成した組織「DMO 東京丸の内」が拠点を構えます。
- ・DMO 東京丸の内は、エリアと連携してエリア内の MICE 施設を国内外に情報発信するほか、ユニークベニュー施設の新規発掘や活用検討を行います。観光誘致のために旅行事業者やメディア、ブロガーなどを招く視察ツアー「FAM トリップ」でのプレゼンテーションも実施します。
- ・東京商工会議所や東京會館が所有・運営する MICE 施設の連携や活用も推進します。



▲6 階／DMO 東京丸の内



▲DMO 東京丸の内 ロゴ

○ 日本外国特派員協会（プレスクラブ）（地上 5・6 階）

- ・海外メディアが日本から世界に情報を発信する拠点です。丸の内・有楽町が情報の中心地として世界と日本を結ぶ役割を担います。
- ・GHQ 統治下、日本外国特派員協会（プレスクラブ）の前身である東京特派員クラブが三菱地所所有の丸之内会館（当時）に初めての拠点「No.1 Shimbun Alley」を設けて以降、日本外国特派員協会（プレスクラブ）は丸の内・有楽町界隈で移転を重ねており、当拠点で 5 代目の拠点となります。
- ・DMO 東京丸の内と共に丸の内エリアから海外に向けた情報発信機能を強化、更なる国際競争力向上が期待されます。



©Stirling Elmendorf

▲5 階／日本外国特派員協会（プレスクラブ）



▲日本外国特派員協会（プレスクラブ）ロゴ

【商業機能】

○ 丸の内仲通りの更なる賑わいを創出する商業ゾーン「二重橋スクエア」

- ・三菱地所による商業ゾーン「二重橋スクエア」では、本物志向のファッションから仲通りに面したテラス席を備える飲食店舗まで、日本初出店や新業態を含む25店舗（飲食17店舗、物販店舗7店舗、サービス1店舗）が出店しており、有楽町へ続く丸の内仲通りの更なる賑わいを創出します。



▲B1階／「二重橋スクエア」通路



▲2階／「二重橋スクエア」テラス席&通路イメージ

○ 多様な機能を備える東京商工会議所・東京會館の商業ゾーン

- ・東京商工会議所は、診療所、調剤薬局、カフェ、コンビニエンスストア、スポーツクラブなど就業者の利便性を向上させる多様性に富んだ店舗を整備します。
- ・東京會館エリアは、初代・二代目本館から続く伝統の味を継承しながらより軽やかな感性を加えた新たなメニューが登場する6店舗のほか、和の新形態やショップなど新たな特色を持った2店舗を加えた計8店舗から構成されます。
- ・こうした様々なバリエーションの商業店舗の集積が進むことで、エリアに商業施設としての深まりと広がりが期待されます。



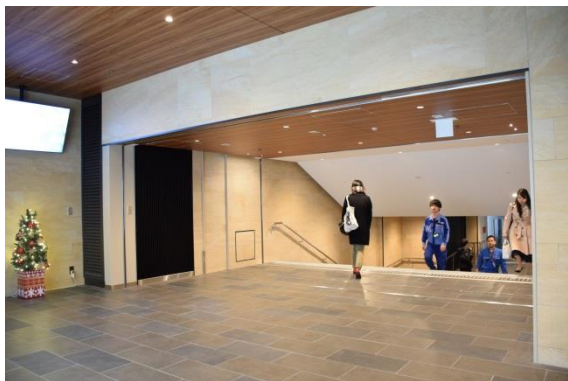
▲1階／タリーズコーヒー 東京商工会議所ビル店



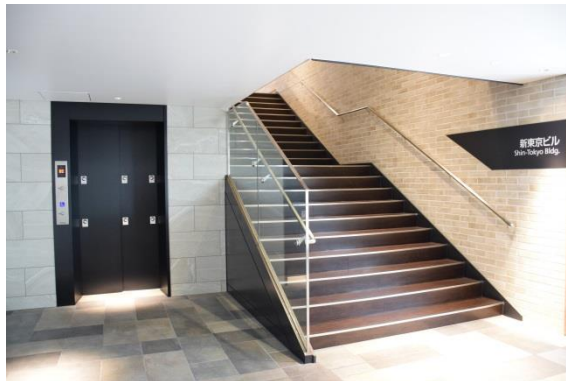
▲2階／東京會館エリア「ブルニエ」

○ エリアの利便性を向上させる地下歩行者ネットワーク

・丸の内エリアでは、「大手町・丸の内・有楽町地区まちづくりガイドライン」に基づき、地下歩行者ネットワークの拡充を図ってきました。本開発においては、隣接する新東京ビル及び地下鉄コンコースとの地下接続工事を実施し、東京駅と地下鉄2駅をつなぐバリアフリー対応の地下歩行者ネットワークを整備しました。これによって、京葉線東京駅から都営三田線日比谷駅、東京メトロ日比谷駅・二重橋駅・有楽町駅まで雨に濡れずに移動が可能になります。また、東京駅から有楽町エリアへのアクセスが容易になり、より一層の来街者が増えることが期待されます。（京葉線東京駅との直結通路は2020年4月に開通予定です。）



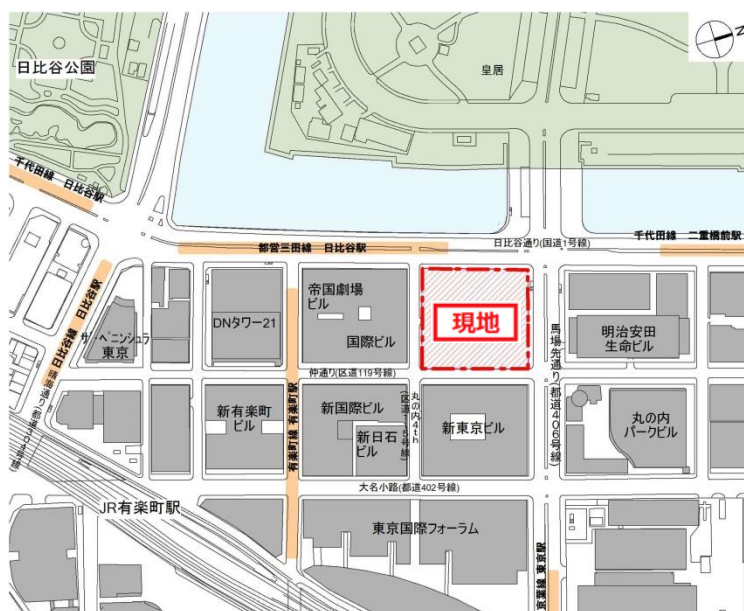
▲地下接続部



▲バリアフリー対応のための
段差解消用エレベーター

4. 開発計画概要

- ・ 所在地 東京都千代田区丸の内三丁目 2 番 3 号
- ・ 交通 東京メトロ千代田線「二重橋前〈丸の内〉」駅直結
東京メトロ有楽町線「有楽町」駅直結
東京メトロ日比谷線・千代田線、都営三田線「日比谷」駅直結
- ・ 主要用途 事務所・会議室・バンケット・店舗・駐車場等
- ・ 敷地面積 9,935.02 m²
- ・ 延床面積 174,054.18 m²
- ・ 開発手法 都市再生特別地区（丸の内三丁目 10 地区）
- ・ 容 積 率 1,500%
- ・ 階 数 地下 4 階、地上 30 階、塔屋 2 階
- ・ 建物高さ 約 150m
- ・ 構 造 地上：鉄骨造 地下：鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・ 設計監理 株式会社三菱地所設計
日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社(東京會館専有部)
- ・ 施 工 大成建設株式会社
- ・ 新築工期 2015 年 11 月 16 日～2018 年 10 月 15 日



(注釈)

- ※1) MICE…Meeting、Incentive、Conference または Convention、Exhibition の頭文字を取ったもので、大きな集客効果を望めるビジネスイベントの総称。
- ※2) DMO 東京丸の内…DMO=Destination Marketing Organization の略称。DMO 東京丸の内は、都心型 MICE の誘致促進を目的に、MICE、ユニークベニュー施設を所有、運営する 20 団体で 2017 年 4 月に発足した組織。

*本プレスリリース掲載画像等は、以下の URL よりデータをダウンロードできます。

(ダウンロード期限：2018 年 12 月 31 日 (月))

URL : <https://mecgroup.box.com/v/nijubashi> PASSWORD : 20181121